

## メプチンスイングヘラー10 $\mu$ g 吸入 100 回

### 【この薬は？】

販売名	メプチンスイングヘラー10 $\mu$ g 吸入 100 回 Meptin Swinghaler 10 $\mu$ g 100 puffs
一般名	プロカテロール塩酸塩水和物 Procaterol Hydrochloride Hydrate
含有量 (1 吸入中)	10 $\mu$ g

### 患者向医薬品ガイドについて

**患者向医薬品ガイド**は、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」

<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

### 【この薬の効果は？】

- ・この薬は、気管支拡張剤と呼ばれるグループに属する吸入剤です。
- ・この薬は、気管支に作用し、狭くなった気道を広げることにより、呼吸を楽にします。
- ・次の病気の人に処方されます。

**下記疾患の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解**

**気管支喘息、慢性気管支炎、肺気腫**

- ・喘息の方は、喘息発作がおこったときに使用します。

### 【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にメプチンスイングヘラー10 $\mu$ g 吸入 100 回に含まれる成分で過敏症のあった人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

さい。

- ・甲状腺機能亢進症の人
- ・高血圧の人
- ・心臓に障害のある人
- ・糖尿病の人
- ・低酸素血症の人
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

## 【この薬の使い方は？】

### ●使用量および回数

使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。  
通常、使用する量は、次のとおりです。

	1回の吸入量
成人	2吸入
小児	1吸入

1日の吸入回数は最大4回（原則として成人8吸入、小児4吸入）までとしてください。

- ・喘息の方は、喘息発作がおこったときに使用します。

### ●この薬を吸入できる回数は？

- ・この薬は1容器で100回吸入できます。

### ●どのように使用するか？

- ・詳しくは巻末の使用方法を参照してください。
- ・必ず、医師の指示に従い、使用する時は使用説明書の「メプチンスイングヘラー10 $\mu$ g吸入100回を正しくお使いいただくために」をよく読んで使用してください。
- ・お子さんが使用する場合は、保護者の方が使用法を正しく指導し、保護者の監視下で使用してください。
- ・吸入終了後はうがいをするように心がけてください。

### ●効果が不十分な場合の対応

発作が重篤で、この薬の効果が不十分な場合には、できるだけ早く受診してください。

### ●多く使用した時（過量使用時）の対応

- ・過度に使用すると、心室性不整脈（めまい、動悸、胸の不快感、気を失う）があらわれることがあります。このような症状があらわれた場合にはただちに使用を中止し、医師に連絡してください。場合により、心停止のおそれがあります。
- ・過量に使用した場合には、頻脈、低カリウム血症（体に力が入らない、体が動かさない、息苦しい、お腹が張る）、高血糖（体がだるい、体重が減る、喉が渇く、水を多く飲む、尿量が増える）、乳酸アシドーシス（頭痛、眠くなる、意識の低下）などがあらわれることがあります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、使用を中止し、ただちに医師に連絡してください。

## 【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・過度の使用により重篤な副作用があらわれることもあるので、患者または保護者が正しい使用方法について十分に理解できるまで説明を受けてください。
- ・指示された使用量および回数を必ず守ってください。小児が使用する場合には、家族も正しい使用方法を理解して監督してください。
- ・過度に使用すると血清カリウム値の低下などにより、頻脈、動悸（どうき）などの症状があらわれることがあります。このような症状があらわれたらただちに使用を中止し、医師に連絡してください。また、過度の使用により、心停止のおそれがあります。特に発作発現時は使用が過度になりやすいので、1回の吸入数、1日の吸入回数などに十分注意してください。
- ・指示された使用量および回数どおりに正しく使用してもこの薬の効果が認められない場合は、ただちに医師に相談してください。
- ・発作が重篤でこの薬の効果が不十分な場合は、できるだけ早く受診してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

## 副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい
重篤な血清カリウム値の低下 じゅうとくなくけっせいかりうむちのていか	脱力感、喉が渇く、息苦しい、手足のまひ、筋力の低下、意識の低下、意識の消失

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、ふらつき、脱力感
頭部	めまい、意識の消失、意識の低下
顔面	顔面蒼白
口や喉	喉のかゆみ、喉が渇く
胸部	動悸、息苦しい

部位	自覚症状
手・足	手足が冷たくなる、手足のまひ
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹
筋肉	筋力の低下

## 【この薬の形は？】



## 【この薬に含まれているのは？】

有効成分	プロカテロール塩酸塩水和物 (1吸入中 10 $\mu$ g 含有) 1容器 100吸入
添加物	乳糖水和物 <sup>注)</sup>

注) 夾雑物として乳蛋白を含む。

## 【その他】

### ●この薬の保管方法は？

- ・吸入時以外は、キャップを閉めて保管してください。
- ・吸入器は絶対に水洗いしないでください。
- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

### ●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

## 【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社 大塚製薬株式会社 (<http://www.otsuka.co.jp>)

医薬情報センター

電話番号：0120-922-833

受付時間：月～金 9：00～17：00

(土、日、祝日、休業日を除く)

## 〔メプチンシングヘラー10 $\mu$ g 吸入 100 回の吸入方法〕

このお薬には表面と裏面があります。


ラベルに **表 (水平)** と表示している面 (吸入可能数カウンターのある面) を上面にして水平に持ち、吸入方法にしたがって正しく吸入してください。


↑ カウンターの面を上に向けて水平に持つ ↓

- 1 防湿キャップを開ける**
  - ・ 防湿キャップを完全に開け固定します。(開けにくい場合は、少しひねるように開けてください。)

注意：  
吸入口を上向きにしてボタンを押さないこと
- 2 押しボタンを押す**
  - ・ ラベルに **表 (水平)** と表示している面 (吸入可能数カウンターのある面) を **上に向けて** 持ちます。
  - ・ 青色の押しボタンを「カチッ」と音がして止まるまで押します。(カウンターの数字が1つ減ります。)
  - ・ 指の力をぬいて、ボタンを元の状態に戻します。(1 吸入分のお薬がセットされます。)

**注) カウンターの面を下や横に向けて持つと 1 吸入分を正確に吸入できません。**


- 3 息を吐く**
  - ・ マウスピース (吸入口) をくわえる前に軽く息を吐きます。

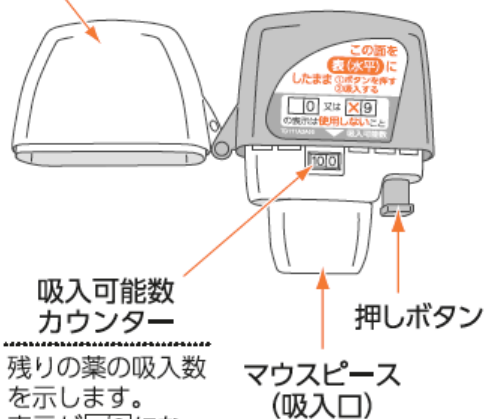
**注) マウスピースに息を吹き込まないでください。**
- 4 薬を吸う**
  - ・ マウスピースと唇の間に隙間ができないようにマウスピースをくわえ、口からはやく深く息を**吸い込み**ます。(この時にお薬が吸い込まれます。)
  - ・ マウスピースを口から離し、そのまま軽く数秒間息を止めてください。その後、ゆっくりと息を吐きます。
  - ・ 2 吸入する場合は 1 分程度の間をおいて ② ~ ④ の手順を繰り返します。

注意：  
空気取り入れ口をふさがないように持つ
- 5 防湿キャップを閉じる**
  - ・ 防湿キャップを**しっかり閉じます**。
  - ・ 吸入後はうがいをするように心がけてください。

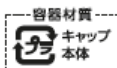
## ・吸入可能数カウンターの表示

- ・1吸入ごとに（押しボタンを一回押すごとに）数字が減ります。

防湿キャップ



吸入可能数  
カウンター  
残りの薬の吸入数  
を示します。  
表示が□0になっ  
たら使用しないで  
ください。



100

新しい吸入器の表示は“100”です。  
(100吸入できます)

99

1吸入ごと(押しボタンを1回押すごとに)  
数字が減ります。

9

残りの吸入可能数が“9”以下になると窓  
の左側がこの表示になります。  
新しいお薬を用意してください。

1

残りの吸入可能数は“1”です。

0

押しボタンを押すとお薬がセットされ“0”  
になります。(最後の1吸入分を吸入して  
ください。)

終了となります

**使用しないでください**

0

“0”の表示のものは**使用しないでください。**

×9

0の表示から、更に押しボタンを押すと  
×9の表示になり、押しボタンは完全に  
戻らなくなります。  
お薬がセットされませんので**使用しないで  
ください。**

## ・保管方法および手入れの仕方

- ・マウスピース（吸入口）や防湿キャップが汚れた場合は、乾いたティッシュペーパーなどで拭いてください。絶対に、吸入器を水で洗わないでください。
- ・湿気によりお薬が固まるのを防ぐため、防湿キャップをしっかりと閉じて保管してください。
- ・高温多湿の所を避けて室温で保管してください。
- ・小児の手の届かないところに保管してください。

## ・取り扱い上の注意

- ・この薬は防湿のためにアルミ袋に包装していますので、使用開始直前にアルミ袋を開けてください。
- ・強い衝撃を与えないでください。
- ・本体を絶対に分解しないでください。